

Cisco Catalyst Center リリース 3.1.5 リリースノート



目次

Catalyst Center リリース 3.1.5	3
新しいソフトウェア機能	3
動作における変更	7
解決済みの問題	8
未解決の問題	8
既知の問題	8
互換	9
拡張性	10
サポートされるハードウェア	11
関連技術情報	12
法的情報	13

Catalyst Center リリース 3.1.5

Cisco Catalyst Center は、設計、検出、ポリシー、プロビジョニング、予測分析、インテリジェントモニタリング、可視性、コンプライアンスなど、最新のネットワーク管理のあらゆる側面にまたがる機能を備えた、包括的なネットワーク管理ソリューションです。運用の効率と一貫性を確保するため、Catalyst Center には組み込みの自動化および簡素化されたワークフローが含まれています。

このドキュメントでは、Catalyst Center リリース 3.1.5 の機能、制限事項、およびバグについて説明します。

注：Catalyst Center 3.1.5は、制御された可用性リリースとして使用できます。営業担当者にお問い合わせください。

表 1. 初回リリース以降のこのドキュメントの変更履歴

日付	変更内容	参照先
2025-11-07	Catalyst Center と CMX 11.0 および TLS 1.3 の詳細を追加しました。	動作における変更
2025-10-21	サポートされているファームウェアの詳細が変更されました。	サポートされているファームウェア
2025-10-10	Catalyst IE3200、IE3300、および IE3400 スイッチのソフトウェアイメージ管理 (SWIM) のアップグレードに関するアップグレード制限を追加しました。	既知の問題
2025-10-01	初版	—

新しいソフトウェア機能

Catalyst Center 3.1.5 のパッケージバージョン

表 2. Catalyst Center 3.1.5 のパッケージバージョン

パッケージ名	リリース 3.1.5
リリースビルドバージョン	
リリースバージョン	3.1.5-75246
システムの更新プログラム	
システム	3.1.175
システム共通	2.732.65542
システムアドオン	0.10.51
パッケージの更新	
アクセス制御アプリケーション	2.732.65542
AI エンドポイント分析	1.11.1708
AI ネットワーク分析	4.0.34

パッケージ名	リリース 3.1.5
アプリケーションおよびサービス修復	3.15.24
アプリケーション ホスティング	2.3.325091505
アプリケーションの可視性およびポリシー	2.732.117669
保証	3.150.171
アシュアランス - センサー	3.150.151
自動化 - インテリジェントキャプチャ	2.732.65542
自動化 - センサー	2.732.65542
Catalyst Center API カタログ	6.8.103
Catalyst Center Gateway サービス	0.10.8-3
Cisco Catalyst Center グローバル検索	6.9.4
Cisco Catalyst Center プラットフォーム	6.9.54
Cisco Catalyst Center UI	3.5.147
Cisco Identity Services Engine	3.150.3
Cisco Umbrella	2.732.595019
クラウド接続	6.10.15
クラウド接続 - コンテキストコンテンツ	7.0.9
クラウド接続性 - ダイジェスタ	7.0.5
コアプラットフォーム	0.10.219
ディザスタリカバリ	2.732.365035 注：このパッケージはオンプレミスのハードウェアアプライアンスでのみ使用でき、仮想アプライアンスでは使用できません。
Cloud-Connectivity-Datahub	6.10.29
グループベースのポリシー分析	3.150.11
アイデンティティ管理とアクセス管理	5.4.57
アイデンティティ管理とアクセス管理 - UI	5.4.32
複数の Cisco Catalyst Center	2.732.65542
ネットワーク コントローラ プラットフォーム	2.732.65542

パッケージ名	リリース 3.1.5
ネットワーク データ プラットフォーム - 基本分析	3.150.100247
ネットワーク データ プラットフォーム - キャッシングインフラ	6.6.12
ネットワーク データ プラットフォーム - コア	6.6.131
ネットワーク データ プラットフォーム - 取り込みインフラ	6.6.16
ネットワーク データ プラットフォーム - マネージャ	6.6.101
ネットワーク データ プラットフォーム - パイプラインインフラ	6.6.132
ネットワーク データ プラットフォーム - ストレージ管理	6.6.52
RCA スクリプトのパッケージ	0.5.7%
不正および aWIPS	3.1.206
SD-Access	2.732.65542
共有マネージドサービス	0.10.21
Stealthwatch セキュリティ分析	2.732.1095171
サポート サービス	2.732.885199
システム管理操作	1.6.56
テレメトリ	4.7.20
Wide Area Bonjour	2.732.755008

ディザスタリカバリ監視

ディザスタリカバリ監視は、Catalyst Center の個別の OVA ファイルとして使用できます。バージョン番号は 2.1.732.370017 です。

Catalyst Center

表 3. Catalyst Center 3.1.5 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	ルールベースのコンプライアンスポリシー	Catalyst Center では、カスタム設定ルールとポリシーを作成し、ネットワーク全体で定期的に評価して違反を検出します。
	IP アドレスプールをオーバーラップ	Catalyst Center では、IP アドレスプールの CIDR サブネットの重複を有効にできます。これにより、IP アドレスを動的に割り当てる柔軟性が向上します。

Cisco Catalyst Assurance

表 4. Cisco Catalyst Assurance 3.1.5 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	ダッシュボードの強化	範囲を定義し、クライアントおよびネットワークテンプレートのダッシュボードに特定のフィルタを設定する機能を強化しました。

Catalyst Center プラットフォーム

表 5. Catalyst Center プラットフォーム 3.1.5 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	API 操作	<p>Catalyst Center プラットフォームでは、新しい API 操作がサポートされています。</p> <p>詳細については、『Cisco Catalyst Center Platform User Guide』の「新機能および変更情報」を参照してください。</p> <p>API の詳細については、Cisco DevNet の Cisco Catalyst Center APIs を参照してください。</p>

Catalyst Center 自動化

表 6. Catalyst Center 自動化 3.1.5 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	OS ライセンスのサポート	<p>Catalyst Center は、次のスイッチの OS Essentials および OS Advantage の永続的デバイスライセンスをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">• Cisco C9610 シリーズ スマートスイッチ• Cisco C9350 シリーズ スマートスイッチ <p>OS ライセンスの [License Manager] ウィンドウの機能拡張：</p> <ul style="list-style-type: none">• [Overview] タブ：購入、使用、および使用可能な OS ライセンスに関する情報を表示します。• [Licenses] タブ：合計、期限切れ間近、および非準拠の OS ライセンスの数を表示します。• [Devices] タブ：ライセンスレベルを変更する手順が拡張され、OS ライセンス転換と削除をサポートします。 <p>これらのスイッチの PnP オンボーディング中に、[Select a License Level] ドロップダウンリストから [OS Essentials] または [OS Advantage] のスタックライセンスレベルを選択できるようになりました。</p>
使いやすさ	複数のワイヤレスコントローラ間でのデバイスごとの設定のクローン作成に関する機能拡張	<p>Catalyst Center は、別の Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラからの、デバイスごとの設定機能の複製をサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">• Flex プロファイル• RF プロファイル• サイトタグ

Cisco Software-Defined Access

表 7. Cisco Software-Defined Access 3.1.5 の新機能および変更された機能

製品への影響	機能	説明
基本機能	ファブリックエッジとして IE3500 および IE3500H をサポート	<p>Catalyst Center は、Campus Fabric 内のファブリックエッジノードとして設定された Cisco Catalyst IE3500 および 3500H をサポートします。</p> <p>Campus Fabric 機能は、ポリシーベースのセグメンテーションの構成に基づいて仮想ネットワークを構築する基本的なインフラストラクチャを提供します。</p> <p>ファブリック エッジ デバイスは、</p> <ul style="list-style-type: none">● ファブリック ドメインに接続するユーザーとデバイスに接続を提供します。● エンドポイントを識別および認証します。● ファブリック ホスト トラッキング データベースにエンドポイント ID 情報を登録します。● 入力時にカプセル化を、出力時にはカプセル化解除を実行し、ファブリック ドメインに接続されたエンドポイント間でトラフィックを転送します。

動作における変更

表 8. Catalyst Center 3.1.5 の動作の変更

変更内容	説明
Catalyst Center と CMX 11.0 および TLS 1.3 の統合	<p>CMX 11.0 以降、デフォルトでは TLS 1.2 のサポートは終了しました。TLS 1.3 のみがサポートされています。FIPS 140-3 サポートを含む Catalyst Center 3.1.5 では、CMX 11.0 に必要な TLS 1.3 および対応する暗号スイートが追加されます。TLS 1.2 を使用している場合、CMX 11.0 以降との統合が失敗する可能性があります。</p> <p>10.6.x などの古い CMX バージョンでは TLS 1.2 がサポートされており、統合の問題はありません。CMX 11.1.0 以降では、TLS 1.2 サポートを再度有効にするために、新しい設定オプションを使用できます。</p> <p>詳細については、『Cisco CMX 11.1 リリースノート』および『Cisco CMX 11.1 コマンド参考資料』を参照してください。</p>
最小定期再同期間隔が6時間に増加	<p>パフォーマンスを向上させ、リソース割り当てを最適化するために、定期的な再同期の最小間隔（デバイスごとおよびグローバルの両方）が 25 分から 6 時間に長くなりました。</p> <ul style="list-style-type: none">● 再同期間隔が 6 時間未満のデバイスでは、間隔が自動的に新しい最小値である 6 時間に増加されます。● すでに 6 時間以上の再同期間隔に設定されているデバイスでは、変更されません。 <p>グローバル再同期間隔が 6 時間未満に設定されている場合、設定時間の値は 6 時間に増加されます。グローバル再同期間隔がすでに 6 時間以上になっている場合は、変更されません。</p>
Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのデバイスごとの設定からモビリティ設定オプションが削除されました	<p>デバイスごとの設定が有効になっている Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのデバイスの詳細ウィンドウの左側のペインで、[Global Wireless Configurations] にある [Mobility] オプションおよび次のタブが削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none">● グローバル コンフィギュレーション● ピア設定

推奨されなくなった機能

表 9. Catalyst Center 3.1.5 で廃止された機能

機能	説明
Cisco Umbrella のサポート	Catalyst Center は、今後のリリースで Umbrella のサポートを廃止し、終了します。Umbrella に関して収集されたデータは、Catalyst Center から完全に削除されます。

解決済みの問題

[シスコのバグ検索ツール](#)を使用して、特定のバグを検索したり、このリリースに含まれるすべての解決済みバグを検索したりできます。

未解決の問題

[シスコのバグ検索ツール](#)を使用して、特定のバグを検索したり、このリリースに含まれるすべての未解決バグを検索したりできます。

文書化されたシスコ製品の問題を検索するには、ブラウザに次のように入力します：<bug_number>
site:cisco.com

既知の問題

表 10. Catalyst Center 3.1.5 のガイドラインと制約事項

機能	説明
ガイドライン	
Stealthwatch セキュリティ分析	リリース 2.3.7.x から 3.1.x にアップグレードする場合、デバイスで Stealthwatch Security Analytics をプロビジョニングするには、 Stealthwatch に対する 書き込み 権限が必要です。 読み取り 権限のみの場合、設定を編集またはプロビジョニングすることはできません。アップグレードの前後に権限を更新して、設定の編集とプロビジョニングを有効にします。
制限事項	
オプションパッケージはアンインストールできません	Catalyst Center 3.1.5 の既知のソフトウェアの問題 (CSCwr13826) により、シスコでは、オプションのアプリケーションパッケージをアンインストールするオプションを一時的に無効にしています。オプションパッケージは、 Cisco TAC のみがアンインストールできます。サポートが必要な場合は、 Cisco TAC でサービスリクエストを開いてください。
グループベースポリシーの分析	グループベースのポリシー分析の場合、24 時間および 12 時間の Sankey チャートのサマリーは使用できません。 <ul style="list-style-type: none">● AWS 上の Catalyst Center● Catalyst Center on Azure● Catalyst Center on ESXi
ネットワーク推論機能	機械推論エンジンワークフローは、Catalyst 9350 および Catalyst 9610 デバイスではサポートされていません。

機能	説明
製品内ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> オンラインヘルプとインタラクティブヘルプはライトモードでのみ使用でき、暗いモードはサポートされていません。 インタラクティブヘルプのウィジェットを右上、右中央、および右下の位置に配置している場合、カーソルがウィジェットの右端を超えると、ウィジェットが点滅することがあります。
IPv6	<p>IPv6 モードで Catalyst Center を実行することを選択した場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> Access Control Application、Group-Based Policy Analytics、SD-Access、Cisco AI Endpoint Analytics、Cisco ISE、およびサポートサービスパッケージは無効になっており、ダウンロードやインストールはできません。これらのパッケージは IPv6 をサポートしていないため、アップグレードする前に IPv6 展開からこれらのパッケージを削除してください。 Cisco ISE pxGrid は IPv6 をサポートしていないため、pxGrid を介した通信は無効になっています。 LAN 自動化はサポートされていません。 サイトへのデバイスの追加はサポートされていますが、プロビジョニングはサポートされていません。 ITSM 統合はサポートされていません。 ワイヤレスデバイスのネットワークプロファイルはサポートされていません。 Stealthwatch セキュリティ分析はサポートされていません。 ディザスタリカバリはサポートされていません。 Catalyst Center は、IPv6 用にも設定されている場合、Cisco ISE との統合をサポートしません。AAA サーバーとしての Cisco ISE の使用のみサポートされています。
アップグレード	<p>次の場合を除いて、In-Service Software Upgrade (ISSU) は、Cisco SD-Access の展開ではサポートされていません。</p> <p>Catalyst IE3200、IE3300、および IE3400 スイッチは、低フラッシュメモリデバイスとして分類されます。Catalyst Center では通常 SWIM アップグレードにはインストールモードを使用することが推奨されますが、Cisco IOS XE リリース 17.x から 17.12.x にアップグレードすると、Catalyst IE スイッチでこの方法が失敗することがあります。そのため、インストールモードでの SWIM のアップグレードについては、スイッチをリリース 17.15.x 以降にアップグレードすることを推奨します。バンドルモードを使用している場合は、スイッチをリリース 17.12.x にアップグレードできます。</p>

互換

Catalyst Center 互換性マトリックス

ルータ、スイッチ、ワイヤレス AP などのデバイス、および各アプリケーションでサポートされているソフトウェアリリースについては、「[Cisco Catalyst Center Compatibility Matrix](#)」を参照してください。

Cisco SD-Access 互換性マトリックス

Catalyst Center での Cisco SD-Access ハードウェアおよびソフトウェアのサポートについては、「[Cisco Software-Defined Access Compatibility Matrix](#)」を参照してください。

互換性のあるブラウザ

Catalyst Center GUI は次の HTTPS 対応ブラウザと互換性があります。

- Google Chrome：バージョン 93 以降
- Mozilla Firefox：バージョン 92 以降

画面解像度：

- 最小：1368 x 768 ピクセル
- 推奨：1920 X 1080 ピクセル

Catalyst Center へのログインに使用するクライアント システムは、64 ビット オペレーティング システムと *.cisco.com ドメインへのインターネットアクセスを備えたブラウザを装備していることが推奨されます。

サポートされているアップグレードパス

Catalyst Center の現在のリリースへのアップグレードの詳細については、『[Cisco Catalyst Center Upgrade Guide](#)』を参照してください。

アップグレードする前に、検証ツールを使用して Catalyst Center のアプライアンスの正常性とアップグレードの準備状況チェックを実行します。アップグレード前チェックを実行するための [Appliance Infrastructure Status] および [Upgrade Readiness Status] 検証セットを選択します。詳細については、『[Cisco Catalyst Center Administrator Guide](#)』の「Configure System Settings」章の「Use the Validation Tool」を参照してください。

拡張性

Catalyst Center のスケール

Catalyst Center のスケール数値を確認するには、[Cisco Catalyst Center Data Sheet](#) を参照してください。

Web コンテンツ アクセシビリティ ガイドライン 2.1 標準のサポート

Catalyst Center は、AA 適合レベルの Web コンテンツ アクセシビリティ ガイドライン (WCAG) 2.1 標準をサポートしますが、次の制限事項があります。

表 11. WCAG 2.1 標準の AA 適合レベルと制限事項

WCAG 成功基準	サポートを受ける	制限事項
1.2.4：キャプション（ライブ）	未サポート	—
1.2.5：音声説明（録音済み）	未サポート	—
1.3.4：方向付け	未サポート	—
1.3.5：入力目的の特定	サポート対象	—
1.4.3：コントラスト（最小）	サポート対象	—
1.4.4：テキストのサイズ変更	サポート対象	—
1.4.5：テキストの画像	サポート対象	—
1.4.10：リフロー	サポート対象	—
1.4.11：テキスト以外のコントラスト	サポート対象	—
1.4.12：テキストの間隔	サポート対象	—
1.4.13：ホバーまたはフォーカスのコンテンツ	サポート対象	—

WCAG 成功基準	サポートを受ける	制限事項
2.4.5：複数の方法	サポート対象	—
2.4.6：見出しとラベル	サポート対象	—
2.4.11：フォーカスの外観（最小）	サポート対象	—
2.5.7：ドラッグ移動	一部サポートあり	サードパーティライブラリの制限により、ダッシュボードでは、ドラッグアンドドロップが部分的にサポートされます。
2.5.8：ターゲットサイズ（最小）	サポート対象	—
3.1.2：各部の言語	サポート対象	—
3.2.3：一貫したナビゲーション	サポート対象	—
3.2.4：一貫した識別	サポート対象	—
3.3.3：エラーの提案	サポート対象	—
3.3.4：エラー防止（法的、財務、データ）	未サポート	—
3.1.2：各部の言語	サポート対象	—
3.2.3：一貫したナビゲーション	サポート対象	—
3.2.4：一貫した識別	サポート対象	—
3.3.3：エラーの提案	サポート対象	—
3.3.4：エラー防止（法的、財務、データ）	未サポート	—

サポートされるハードウェア

サポートされているハードウェアアプライアンス

Cisco は、ラックマウント可能な物理アプライアンスの形で **Catalyst Center** を提供しています。次のバージョンの **Catalyst Center** アプライアンスを使用できます。

- 第 2 世代
 - 44 コアアプライアンス：DN2-HW-APL（Cisco UCS C220 M5）
 - 44 コア プロモーション アプライアンス：DN2-HW-APL-U（Cisco UCS C220 M5）
 - 56 コアアプライアンス：DN2-HW-APL-L（Cisco UCS C220 M5）
 - 56 コア プロモーション アプライアンス：DN2-HW-APL-L-U（Cisco UCS C220 M5）
 - 112 コアアプライアンス：DN2-HW-APL-XL（Cisco UCS C480 M5）

- 112 コア プロモーション アプライアンス : DN2-HW-APL-XL-U (Cisco UCS C480 M5)
- 第 3 世代
 - 32 コアアプライアンス : DN3-HW-APL (Cisco UCS C220 M6)
 - 56 コアアプライアンス : DN3-HW-APL-L (Cisco UCS C220 M6)
 - 80 コアアプライアンス : DN3-HW-APL-XL (Cisco UCS C240 M6)

揮発性に関する報告

物理アプライアンスの揮発性に関するステートメントについては、『[Statement of Volatility for Cisco UCS Hardware](#)』を参照してください。

サポートされる仮想アプライアンス

Catalyst Center 3.1.5 は、クラウド内の Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、またはオンプレミス環境用の VMware ESXi でのみ仮想アプライアンス (VA) として展開する場合を対象としています。

Catalyst Center も Cisco TAC も、他のハイパーバイザを使用する環境で発生する問題、バグ、または予期しない動作はサポート対象外です。

サポートされているファームウェア

Catalyst Center 3.1.5は、次のファームウェアバージョンに対してのみ検証されています。

- アプライアンスモデル DN2-HW-APL、DN2-HW-APL-L、DN2-HW-APL-XL の Cisco IMC バージョン 4.3(2.240077)
- アプライアンスモデル DN3-HW-APL、DN3-HW-APL-L、DN3-HW-APL-XL の Cisco IMC バージョン 4.3(6.250040)

Cisco IMC ファームウェアの更新

Cisco IMC ファームウェアを更新するには、まず、インストールしている Catalyst Center の対応するリリースの[リリースノート](#)を参照してください。リリースノートの「サポートされているファームウェア」セクションに、ご使用のリリースの Cisco IMC ファームウェアバージョンが記載されています。

次に、『[Cisco Host Upgrade Utility User Guide](#)』のファームウェアの更新手順をご覧ください。

3 ノードクラスタ構成では、クラスタ内の 3 つのノードをすべてシャットダウンしてから Cisco IMC ファームウェアを更新することをお勧めします。ただし、必要に応じて、クラスタノードを個別にアップグレードすることもできます。『[Cisco Catalyst Center High Availability Guide](#)』の「Common cluster node operations」を参照し、手順に従って 1 つまたはすべてのノードをシャットダウンしてからメンテナンスを実施します。

関連技術情報

Catalyst Center に関するその他のドキュメントについては、『[Cisco Catalyst Center Documentation](#)』を参照してください。

法的情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語は、シスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。